

施策名：循環を基調とする地域社会の構築

| 事業名 | 担当課・室名 | ページ |
|-------------------|-----------|-------|
| 3 R 普及推進事業 | うつくし作戦推進課 | 1 / 5 |
| 産業廃棄物処理施設等監視指導事業 | 循環社会推進課 | 1 / 5 |
| 廃棄物不法投棄防止対策事業 | 循環社会推進課 | 1 / 5 |
| 産業廃棄物処理施設周辺環境対策事業 | 循環社会推進課 | 2 / 5 |
| 県外産業廃棄物対策事業 | 循環社会推進課 | 2 / 5 |
| PCB廃棄物対策推進事業 | 循環社会推進課 | 2 / 5 |
| 循環社会構築加速化事業 | 循環社会推進課 | 3 / 5 |
| 循環イノベーション創出事業 | 循環社会推進課 | 3 / 5 |
| 豊かな水環境保全推進事業 | うつくし作戦推進課 | 3 / 5 |
| 大気環境監視推進事業 | 環境保全課 | 4 / 5 |
| 森と海をつなぐ環境保全推進事業 | 循環社会推進課 | 4 / 5 |
| 海岸漂着物地域対策推進事業 | 循環社会推進課 | 4 / 5 |
| 生活排水処理施設整備推進事業 | 公園・生活排水課 | 5 / 5 |
| 農業集落排水事業 | 公園・生活排水課 | 5 / 5 |
| 漁業集落排水事業 | 公園・生活排水課 | 5 / 5 |

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：I-4-(2)】

| No. | 事業名・事業概要・事業費 | 主な事業内容 | 主な事業内容ごとの決算額 | 成果指標 | 達成度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 評価 |
|-----|--|---|-------------------------------|---------------------------------------|-----|-------|--|-------|----|
| 1 | 3R普及推進事業 (H22～R4) うつくし作戦推進課 リデュース、リユース、リサイクルの3Rを通じた循環型社会の構築を推進するため、より多くの県民・事業者等にプラスチックごみの削減や、食品ロス削減に取り組んでもらえるよう、積極的な周知・啓発及び協力依頼を効果的に実施する。 | ①プラスチックごみ対策の推進 ・幅広い年代層の環境意識を啓発するための「皆で作るプラごみアートPROJECT」の実施 ・プラスチック代替品の導入を促進する事業者に対する導入経費等の補助 ②食品ロス削減の推進 ・県内事業所における食品ロス削減策をまとめた取組事例集の作成・配布 ・ポスターやPOPの作成・配布による食品小売店等での「手前取り」の周知・啓発 ・フードドライブの取組を促進するためのチラシ配布 | ① 8,958 ③ ② 1,987 ④ | プラスチックごみ削減推進事業所登録数 [累計：事業所] | 目標値 | 320 | 350 | | D |
| | | | | | 実績値 | 111 | 196 | | |
| | | | 主な活動指標と達成率 マイバッグキャンペーン実施回数 | 目標値 | 10 | | 事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 県民向けに啓発動画を制作するとともに、事業者向けには食品ロス削減取組事例集を作成・配布し、食品ロス削減意識の醸成を図った。加えて、事業者のプラスチックごみ削減対策をプラスチック代替製品利用促進補助金で支援するため、県HP上の広報により活用を促してきたが、周知が進まずに成果指標を達成できなかった。深刻化する海洋プラスチックごみ問題等に対応するには県民や事業者には具体的な行動を促す必要があるため、令和5年度からは「プラスチックごみ削減推進事業」を実施する。 | | |
| | | | [回] | 実績値 | 10 | | | | |
| | 達成率 | 100.0% | | | | | | | |
| | 目標値 | | | | | | | | |
| | 実績値 | | | | | | | | |
| | 達成率 | | | | | | | | |
| | 予算額 (うち翌年度繰越額) 11,878 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 10,945 (919) | | | | | | | | |

| No. | 事業名・事業概要・事業費 | 主な事業内容 | 主な事業内容ごとの決算額 | 成果指標 | 達成度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 評価 |
|-----|---|--|-----------------------------------|---------------------------------------|--------|-------|--|-------|----|
| 2 | 産業廃棄物処理施設等監視指導事業 (H20～) 循環社会推進課 産業廃棄物監視員によるパトロール、水質検査、スカイパトロールやドローンによる上空からの監視、経営事項審査など産業廃棄物処理施設の監視指導を実施することにより、産業廃棄物の適正処理の徹底を図る。 | ①保健所(5箇所)に産業廃棄物監視員計10名配置 ②産業廃棄物に係る検査指導 ・産業廃棄物最終処分場の水質検査 ・産業廃棄物処理業者に対する立入調査 ・廃棄物処理業者施設管理システム保守委託 ・スカイパトロール等の実施 ③ドローンを活用した産業廃棄物処理施設の監視 ・廃棄物処理場の保管量測量調査 ・廃棄物処理場の空撮業務委託 ④最終処分場設置者等の経営実態の審査 公認会計士と連携した経営状況の審査 | ① 31,051 ③ 1,460 ② 9,775 ④ 779 | 保管基準違反による県管轄産廃処理施設火災防止率 [%] | 目標値 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | A |
| | | | | | 実績値 | 100.0 | 100.0 | — | |
| | | | 主な活動指標と達成率 産業廃棄物監視員監視件数 | 目標値 | 10,000 | | 事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 産業廃棄物監視員によるパトロール等により適正処理を推進した結果、県内の産業廃棄物処理施設における保管基準違反による火災は、昨年度に引き続き0件と目標を達成した。しかしながら、不適正処理が原因とされる水質悪化が依然として発生していることから、今後もスカイパトロールやドローンによる上空からの監視を含め、より一層の体制強化に努める。 | | |
| | | | [件] | 実績値 | 12,847 | | | | |
| | 達成率 | 128.5% | | | | | | | |
| | 目標値 | 4 | | | | | | | |
| | 実績値 | 4 | | | | | | | |
| | 達成率 | 100.0% | | | | | | | |
| | 予算額 (うち翌年度繰越額) 46,738 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 43,065 (0) | | | | | | | | |

| No. | 事業名・事業概要・事業費 | 主な事業内容 | 主な事業内容ごとの決算額 | 成果指標 | 達成度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 評価 |
|-----|---|--|---------------------------------------|----------------------------------|-----|-------|--|-------|----|
| 3 | 廃棄物不法投棄防止対策事業 (H17～) 循環社会推進課 不法投棄された廃棄物を撤去し、再発が懸念される箇所に不法投棄防止用フェンスや監視カメラを設置するとともに、市町村が実施する不法投棄対策事業に対する支援を実施することにより、全県的に不法投棄の再発防止を図る。 | ①不法投棄防止用フェンスや監視カメラの設置 フェンス6か所、カメラ30か所(うちAIカメラ3箇所) ②不法投棄防止対策に取り組む市町村への補助 ・不法投棄多発地点における巡回監視及び監視カメラの設置など不法投棄等対策事業に対する補助 ・産業廃棄物最終処分場への行政代執行事業に対する補助 ③産業廃棄物排出処分状況調査 大分県内の各業種ごとの産業廃棄物の排出量及び処分状況の調査 ④不法投棄防止に向けた広報 新聞、テレビCMによる廃棄物に関する各種広報を実施 | ① 35,547 ③ 12,100 ② 30,522 ④ 4,065 | フェンス設置箇所の不法投棄再発防止率 [%] | 目標値 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | A |
| | | | | | 実績値 | 100.0 | 100.0 | — | |
| | | | 主な活動指標と達成率 不法投棄廃棄物撤去件数 | 目標値 | 12 | | 事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 令和4年度は6か所に不法投棄防止用フェンスを設置し、実施箇所では不法投棄の再発を防止することができた。しかしながら、県内の不法投棄件数は、大幅な増加こそないものの完全な減少傾向にあるとは言えない状況であることから、引き続き不法投棄の未然防止に取り組む。 | | |
| | | | [件] | 実績値 | 12 | | | | |
| | 達成率 | 100.0% | | | | | | | |
| | 目標値 | 5 | | | | | | | |
| | 実績値 | 6 | | | | | | | |
| | 達成率 | 120.0% | | | | | | | |
| | 予算額 (うち翌年度繰越額) 91,722 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 82,870 (6,022) | | | | | | | | |

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：I-4-(2)】

| No. | 事業名・事業概要・事業費 | 主な事業内容 | 主な事業内容ごとの決算額 | 成果指標 | 達成度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 評価 |
|-----|--|---|-------------------------------|-----------------------------|--|--------|--------|-------|----|
| 4 | 産業廃棄物処理施設周辺環境対策事業 (H18～) 循環社会推進課 周辺住民の不安解消を図るため、市町村又は処理施設設置者が行う環境整備や周辺住民の利便性向上につながる施設整備に対し支援する。 | ①産業廃棄物処理施設周辺環境対策事業費補助 ・産業廃棄物処理施設への運搬車両増加に伴い損傷した路面の舗装補修 ・産業廃棄物処理施設への運搬車両増加に伴う離合困難箇所の道路拡幅 ・産業廃棄物処理施設周辺の環境を安全に保つための環境測定機器更新 | ① 65,897 ③ | 周辺住民の不安解消箇所数 [箇所] | 目標値 | 3 | 3 | 3 | A |
| | | | ② | | ④ | 実績値 | 9 | 10 | |
| | | | 主な活動指標と達成率 事業実施箇所数 | | 達成率 | 300.0% | 333.3% | — | |
| | 予算額 (うち翌年度繰越額) 66,501 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 65,897 (0) | | 目標値 3 実績値 10 達成率 333.3% | | 事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 令和4年度は10か所で事業を実施し、産業廃棄物処理施設周辺住民の不安を解消することができた。 今後も周辺住民の不安解消に資するため、引き続き事業を実施していく。 なお、当該事業は平成18年度から実施しているが、事業開始から16年が経過し、通算の補助上限に近づいている施設が多くなってきていることから、舗装補修等の必要な維持管理が継続できるよう、状況に応じて要綱等の改正を検討する。 | | | | |

| No. | 事業名・事業概要・事業費 | 主な事業内容 | 主な事業内容ごとの決算額 | 成果指標 | 達成度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 評価 |
|-----|---|--|---|-------------------------------------|--|-------|-------|-------|----|
| 5 | 県外産業廃棄物対策事業 (H18～) 循環社会推進課 県外から搬入される産業廃棄物の適正な処理を推進し、県民の生活環境の保全を図るため、不適正な廃棄物の搬入に対する対策を強化するとともに、市町村の県外産業廃棄物対策への補助を実施し、全県的に不適正な県外産業廃棄物の搬入防止を図る。 | ①環境保全協力金基金の積立 県外で発生する産業廃棄物を県内処分場に搬入する量に応じて徴収する環境保全協力金の積立 ②県外産業廃棄物を受け入れる県内処理施設の調査 ・県外産業廃棄物監視員(2名)の配置 ・最終処分場の地下水等検査、騒音・振動・悪臭等の調査 ③保健所設置市が実施する県外産業廃棄物対策事業への補助 県外産業廃棄物を受け入れている処理施設への立入調査など | ① 128,978 ③ 6,000 | 県外産廃搬入処分場排水の維持管理基準達成率 [%] | 目標値 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | B |
| | | | ② 7,648 ④ | | 実績値 | 97.0 | 97.0 | — | |
| | | | 主な活動指標と達成率 県外産廃排出事業者立入件数 | | 達成率 | 97.0% | 97.0% | — | |
| | 予算額 (うち翌年度繰越額) 149,199 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 145,839 (0) | | 目標値 33 実績値 30 達成率 90.9% 県外産廃廃棄物受入業者(最終処分)への立入検査数 目標値 60 実績値 64 達成率 106.7% | | 事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 県外からの産業廃棄物搬入事前協議件数が依然として多い中、県外排出事業者及び県外産廃受入業者に対する立入検査を実施することで、不適正な県外産業廃棄物の搬入を防止し、排水の維持管理基準の目標も概ね達成することができた。 今後も、県外排出事業者・県内受入業者への監視指導を的確に実施し、不適正な県外産業廃棄物の搬入防止に努める。 | | | | |

| No. | 事業名・事業概要・事業費 | 主な事業内容 | 主な事業内容ごとの決算額 | 成果指標 | 達成度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 評価 |
|-----|--|---|-------------------------------|-----------------------------------|---|-------|--------|-------|----|
| 6 | PCB廃棄物対策推進事業 (H13～) 循環社会推進課 ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物の適正処理のため、立入調査・指導や早期処理に向けた広報等を行う。 | ①高濃度PCB廃棄物の未処理業者への指導 高濃度PCB廃棄物保管事業者に対して処理期限までの適正処理を促すための立入指導等を実施 ②低濃度PCB廃棄物の実態把握等 低濃度PCBの早期処理に対する広報と保管事業者に対する適正保管及び処理の指導等を実施 | ① 2,463 ③ | 低濃度PCB廃棄物処理完了事業者 [事業者数] | 目標値 | — | 10 | 20 | A |
| | | | ② 1,396 ④ | | 実績値 | — | 20 | — | |
| | | | 主な活動指標と達成率 PCB保管事業所立入件数 | | 達成率 | — | 200.0% | — | |
| | 予算額 (うち翌年度繰越額) 8,543 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 3,859 (0) | | 目標値 50 実績値 27 達成率 54.0% | | 事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 高濃度PCB廃棄物について、令和4年6月から広域処理が可能となったため、所有者に対して適正処理を指導し、処理を完了させた。 今後は、低濃度PCB廃棄物の早期処理の広報及び保管中の低濃度PCB廃棄物について、保管状況の確認及び適正処理に向けて立入検査を行う。 ※前年度の成果指標である「PCB使用安定器調査進捗率」は、令和3年度末で100%を達成したため、成果指標を変更する。 | | | | |

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：I-4-(2)】

| No. | 事業名・事業概要・事業費 | 主な事業内容 | 主な事業内容ごとの決算額 | 成果指標 | 達成度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 評価 | | | |
|----------------------|---|--|-----------------------|-----------|-----|--|-------|-------|-----|-------|-------|---|
| 7 | 循環社会構築加速化事業 (H29～) 循環社会推進課 廃棄物の減量化・再資源化率を向上させるとともに、市町村の災害廃棄物の処理能力強化を図る。また、中間処理業者等に向けたセミナーの開催などにより企業の意識改革を促し、循環産業の育成を図る。 予算額 (うち翌年度繰越額) 11,696 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 10,932 (0) | ①企業の意識改革の促進 ・排出事業者を対象とした講習会の実施 ・適正処理に向けた経営セミナーの実施 ・産業廃棄物処理業者養成セミナーの実施等 ②リサイクル認定製品制度等の推進 リサイクル認定製品の安全性を担保するための溶出試験の実施等 ③市町村や事業者との連携強化 産業廃棄物処理業者等を対象とした災害廃棄物処理研修の実施 | ① 8,280 ③ 969 | 最終処分場残余年数 | 目標値 | 27.9 | 26.8 | 25.6 | B | | | |
| | | | ② 1,093 ④ | | 実績値 | 26.8 | 25.6 | — | | | | |
| | | | 主な活動指標と達成率 | | | [年] | | | 達成率 | 96.1% | 95.5% | — |
| | | | 産廃業者養成セミナーの1回当たりの参加者数 | 目標値 | 60 | 事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴い、市町村における廃プラスチックの資源化に向けた取組のさらなる推進を図るため、令和3～4年度に県が実施したプラごみの分別回収に向けた実証実験の成果や全国事例についての情報提供を行った。 令和5年度も廃棄物の減量化・再資源化について県内企業の意識啓発、レベルアップを図るとともに、市町村の災害廃棄物処理能力の強化を図る。 | | | | | | |
| | | | [人] | 実績値 | 59 | | | | | | | |
| 自治体職員向け災害廃棄物研修の参加者人数 | 目標値 | 33 | | | | | | | | | | |
| [人] | 実績値 | 28 | | | | | | | | | | |
| | | | [人] | | | 達成率 | 84.8% | | | | | |

| No. | 事業名・事業概要・事業費 | 主な事業内容 | 主な事業内容ごとの決算額 | 成果指標 | 達成度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 評価 | | | |
|---------------|--|--|-----------------|---------------|-----|--|-------|-------|-----|-------|-------|--|
| 8 | 循環イノベーション創出事業 (R3～R4) 循環社会推進課 プラスチックごみや焼却灰など廃棄物のリサイクルを進めるため、市町村や企業と連携し、新たな処理体制を構築する。また、デジタル技術を活用した産業廃棄物等の処理業務の高度化、効率化又は省人化に資する事業を補助し、廃棄物の再資源化や再生利用を促進する。 予算額 (うち翌年度繰越額) 22,650 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 21,693 (0) | ①ICTを活用した効率的なごみ収集体制の実証実験への支援 モデル市(中津市)のごみ収集車両運行データの蓄積及び効率的な運行ルート解析 ②新たな廃棄物処理方式の研究・開発 ・産業廃棄物の減量化、再資源化に寄与する研究・開発に対する補助 ・産業廃棄物処理に対するデジタル技術の導入に対する補助 ③焼却灰の資源化促進 焼却灰の資源化施設への搬入輸送費に対する補助 | ① 9,055 ③ 5,572 | リサイクル率(一般廃棄物) | 目標値 | 19.4 | 19.9 | | B | | | |
| | | | ② 6,090 ④ | | 実績値 | 18.9 | 18.7 | | | | | |
| | | | 主な活動指標と達成率 | | | [％] | | | 達成率 | 97.4% | 94.0% | |
| | | | 容器包装プラごみ分別市町村数 | 目標値 | 6 | 事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 県外排出事業者に対し、安易な埋立ではなく、適正処理を進め、リサイクル先を確保するよう指導したほか、ごみ分別収集体制の実証結果の共有や焼却灰の資源化施設への搬入費用の助成など市町村の取組を支援することでプラスチックごみの分別収集や処理体制の構築を促進した。また、病院等の排出事業者に対して電子マネーの導入補助を行うことで、報告書の作成等の業務の効率化が図られた。 これらの取組により、当初の事業目的を概ね達成したことから当該事業は終了する。 | | | | | | |
| | | | [市町村] | 実績値 | 7 | | | | | | | |
| 県外産廃排出事業者立入件数 | 目標値 | 33 | | | | | | | | | | |
| [件] | 実績値 | 30 | | | | | | | | | | |
| | | | [件] | | | 達成率 | 90.9% | | | | | |

| No. | 事業名・事業概要・事業費 | 主な事業内容 | 主な事業内容ごとの決算額 | 成果指標 | 達成度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 評価 | | | |
|----------------------|--|---|----------------------|------------------|-----|---|-------|-------|-----|-------|-------|--|
| 9 | 豊かな水環境保全推進事業 (H29～R4) うつくし作戦推進課 豊かな水環境の保全活動を推進するため、モデル河川(筑後川、大分川、大野川、犬丸川)における地元住民の主体的な活動などを支援する。 予算額 (うち翌年度繰越額) 750 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 658 (0) | ①第4回アジア・太平洋水サミットへの参加 水環境保全活動団体が出展し、大分県の水環境保全に関する活動内容等を発信 ②河川環境保全活動 流域会議が行う河川環境保全活動への支援 | ① 365 ③ | 水環境保全の啓発活動への参加者数 | 目標値 | 6,000 | 6,000 | | B | | | |
| | | | ② 293 ④ | | 実績値 | 5,079 | 5,564 | | | | | |
| | | | 主な活動指標と達成率 | | | [累計:人] | | | 達成率 | 84.7% | 92.7% | |
| | | | 流域会議が住民に対して行った啓発活動回数 | 目標値 | 5 | 事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 モデル河川において、河川清掃や啓発活動などの河川環境保全活動を行うことで、流域住民の河川愛護意識の向上や水環境の維持・保全を推進することができた。 今後は、おおいたうつくし推進隊による水環境保全の取組とあわせて支援を行うため、令和5年度から「おおいたうつくし作戦推進事業」に統合する。 | | | | | | |
| | | | [回] | 実績値 | 8 | | | | | | | |
| モデル河川での流域会議、連絡会議開催回数 | 目標値 | 8 | | | | | | | | | | |
| [回] | 実績値 | 7 | | | | | | | | | | |
| | | | [回] | | | 達成率 | 87.5% | | | | | |

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：I-4-(2)】

| No. | 事業名・事業概要・事業費 | 主な事業内容 | 主な事業内容ごとの決算額 | 成果指標 | 達成度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 評価 |
|-----|--|--|--|--|-----|-------|-------|-------|----|
| 10 | 大気環境監視推進事業 （H25～） 環境保全課 微小粒子状物質(PM2.5)等の大気汚染物質に対する効果的な削減対策を講じるため、PM2.5の成分分析を行い、その結果を基に発生源に対する監視指導を実施する。 | ①PM2.5等の大気汚染物質の影響及び発生源の把握 ・PM2.5等の大気汚染物質（湿性沈着物・乾性沈着物）調査 ・県内の主要な発生源である「多量ばい煙排出事業所」に対する監視指導 ・県内2地点（由布、佐伯）におけるPM2.5の成分分析及び国や地方環境研究機関との共同研究 ②石綿（アスベスト）飛散防止対策の強化 ・石綿事前調査結果の報告内容の確認及び解体工事現場への監視指導 ・災害時に大気中石綿濃度を測定する体制の整備 | ① 4,500 ③ | PM2.5環境基準達成日率 目標値 99.2 99.3 99.4 実績値 100.0 — — 達成率 100.8% — — | A | | | | |
| | | | ② 4,083 ④ | | | | | | |
| | 予算額 (うち翌年度繰越額) 8,914 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 8,583 (0) | 主な活動指標と達成率 PM2.5の調査実施日数 目標値 112 実績値 112 達成率 100.0% [日] | 事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 PM2.5の成分分析を由布市、佐伯市で実施するとともに、平成27～令和2年度の結果を基に、発生源となりうる工場等への監視指導を強化した。 今後は、両地点における発生源の寄与等を解析し、発生源となりうる工場等への監視指導を強化するなど、効果的なPM2.5削減対策を実施する。 ※令和4年度実績値は令和5年9月頃に確定するため、前年度実績で評価 | | | | | | |
| | | 補助事業申請団体数 目標値 7 実績値 11 達成率 157.1% [団体] | | | | | | | |

| No. | 事業名・事業概要・事業費 | 主な事業内容 | 主な事業内容ごとの決算額 | 成果指標 | 達成度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 評価 |
|-----|--|--|--|---|-----|-------|-------|-------|----|
| 11 | 森と海をつなぐ環境保全推進事業 （H18～） 循環社会推進課 漂着流木等の処理については、沿岸部住民の自発的な海岸清掃が必要であることはもちろん、内陸部住民の海岸の環境保全に対する意識向上が必要である。このため、自発的に行う流木等の撤去に必要な助成をするとともに、上流域住民への普及啓発活動に必要な費用を助成する。 | ①海岸漂着物の回収処理への補助 NPOや自治会等の海岸清掃団体が行う清掃活動や啓発事業に対する補助 ②普及啓発活動への補助 海岸の環境保全を目的に清掃活動と併せて行う環境学習会や活動報告会等に対する補助 | ① 1,851 ③ | 海岸清掃参加者数 目標値 2,280 2,668 2,668 実績値 3,968 3,201 — 達成率 174.0% 120.0% — | A | | | | |
| | | | ② 701 ④ | | | | | | |
| | 予算額 (うち翌年度繰越額) 3,000 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 2,552 (0) | 主な活動指標と達成率 補助事業申請団体数 目標値 7 実績値 11 達成率 157.1% [団体] | 事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 補助事業採択数は11団体となり、申請団体数や海岸清掃参加者数は、昨年度より減少したものの目標を達成した。 近年の調査結果によると、海岸にたい積するごみは川から流れ出てきたものが多いとされ、海岸ごみの発生源になる内陸部住民にもこの問題への認識を深めてもらう必要があることから、内陸部住民に対する啓発を進める。 | | | | | | |
| | | 補助事業申請団体数 目標値 7 実績値 11 達成率 157.1% [団体] | | | | | | | |

| No. | 事業名・事業概要・事業費 | 主な事業内容 | 主な事業内容ごとの決算額 | 成果指標 | 達成度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 評価 |
|-----|---|--|---|---|-----|-------|-------|-------|----|
| 12 | 海岸漂着物地域対策推進事業 （H22～） 循環社会推進課 海岸の景観や環境を保全するため「大分県きれいな海岸づくり推進計画」に基づき、プラスチックや流木等をはじめとする海岸ごみの回収・処分を実施する。 | ①市町村等による海岸漂着物の回収処理 市町村が実施する海岸清掃に対する補助 ②海岸漂着物の回収処理 関係部局が実施する海岸清掃委託 ③海岸ごみの発生抑制対策 ・啓発タオルを作成し、市町村を通じて海岸清掃団体に配布 ・海岸清掃実施団体を新聞やHPで紹介し、海岸清掃への県民参加を促進 ・海ごみ学習用冊子を作成し、小学生への環境教育や清掃団体の啓発活動に活用 ④海岸ごみ組成実態調査 今後の海岸ごみ対策の検討資料とするための海岸ごみの組成調査 | ① 49,570 ③ 3,948 | 定期的な清掃実施海岸数 目標値 7 8 8 実績値 15 9 — 達成率 214.3% 112.5% — | A | | | | |
| | | | ② 24,936 ④ 2,519 | | | | | | |
| | 予算額 (うち翌年度繰越額) 248,019 (142,693) 決算額 (うち国庫支出金) 80,973 (73,286) | 主な活動指標と達成率 海岸清掃を実施した市町村数 目標値 12 実績値 9 達成率 75.0% [市町村] | 事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 令和4年9月に発生した台風14号の被害が大きく別事業で回収処理を実施した結果、定期的な清掃実施海岸数は昨年度より減少したものの目標は達成した。 近年、災害が多発し、緊急的な回収・処理事業も実施されているが、恒常的な当該事業も継続的に実施することで海岸の景観や環境の保全を推進する。 | | | | | | |
| | | 補助事業申請団体数 目標値 7 実績値 9 達成率 128.6% [市町村] | | | | | | | |

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：I-4-(2)】

| No. | 事業名・事業概要・事業費 | 主な事業内容 | 主な事業内容ごとの決算額 | 成果指標 | 達成度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 評価 |
|-----|---|---|--|--|-----|-------|-------|-------|----|
| 13 | 生活排水処理施設整備推進事業 (S59～) 公園・生活排水課 きれいな水環境を創造し、次の世代に引き継ぐため、県下17市町が実施する生活排水処理施設の整備等に対し助成する。 | ①合併処理浄化槽への転換促進 単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽へ転換する住民に市町が補助を行う場合の国庫補助事業の国庫補助相当額を控除した額の1/2を補助、及び転換促進に係る上乗せ補助額の1/2を補助：13市3町 ②生活排水処理施設整備の推進 生活排水処理率70%以下の市町の下水道等の建設費の一部及び生活排水処理率90%以下の市町の下水道等の未普及対策事業に係る建設費の一部を交付：12市1町 | ① 256,378 ③ | 生活排水処理率 目標値 83.0 84.8 86.5 実績値 80.5 — — 達成率 97.0% — — | B | | | | |
| | | | ② 102,103 ④ | | | | | | |
| | 予算額 (うち翌年度繰越額) 377,604 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 358,481 (0) | 主な活動指標と達成率 合併処理浄化槽転換促進事業の交付市町数 [市町] 目標値 16 実績値 16 達成率 100.0% 下水道事業等補助金の交付市町数 [市町] 目標値 13 実績値 13 達成率 100.0% | 事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 令和3年度の生活排水処理率は80.5%で目標を概ね達成することができた。 今後も、下水道全体計画区域のうち整備効率の悪い地区は合併処理浄化槽の整備を促進し、人口密集地等で下水道が未整備の地域は下水道を早急に整備するなど、生活排水処理施設整備を促進するため市町村へ指導する。また、持続可能な下水道事業の運営を目指し広域化・共同化計画の推進を図る。 ※令和4年度実績値は令和5年9月以降に公表予定のため、前年度実績で評価 | | | | | | |

| No. | 事業名・事業概要・事業費 | 主な事業内容 | 主な事業内容ごとの決算額 | 成果指標 | 達成度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 評価 |
|-----|---|---|---|--|-----|-------|-------|-------|----|
| 14 | 農業集落排水事業 (S59～) 公園・生活排水課 農業用排水路における水質保全、施設の機能維持及び農村の生活環境の改善を図る。併せて公共用水域の水質保全に寄与するため、農業集落におけるし尿や生活雑排水等を処理する汚水処理施設の改築・維持管理を行う。 | ①公共用水域の水質保全に寄与するため、農業集落におけるし尿や生活雑排水等の汚水処理施設の改築・維持管理を実施する市町への補助：6市 | ① 83,982 ③ | 生活排水処理率 目標値 83.0 84.8 86.5 実績値 80.5 — — 達成率 97.0% — — | B | | | | |
| | | | ② | | | | | | |
| | 予算額 (うち翌年度繰越額) 126,206 (42,224) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 83,982 (11,706) (83,982) | 主な活動指標と達成率 農集補助金の交付市町数 [市町] 目標値 6 実績値 6 達成率 100.0% | 事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 令和3年度の生活排水処理率は80.5%で目標を概ね達成することができた。 供用開始から20年以上経過した施設が27施設にのぼり、経年劣化に対応した機能保全を本格的に実施する必要があることから、最適整備構想に基づき計画的かつ効率的な改築を実施していく。 ※令和4年度実績値は令和5年9月以降に公表予定のため、前年度実績で評価 | | | | | | |

| No. | 事業名・事業概要・事業費 | 主な事業内容 | 主な事業内容ごとの決算額 | 成果指標 | 達成度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 評価 |
|-----|---|--|--|--|-----|-------|-------|-------|----|
| 15 | 漁業集落排水事業 (S59～) 公園・生活排水課 漁業集落の生活環境の改善と漁港・漁場の水域環境の保全・回復を図ることで、個性的で豊かな漁村の再生を支援し、水産業及び漁村の健全な発展に資するため、漁港漁村における排水処理施設の改築等を行う。 | ①公共用水域の水質保全に寄与するため、漁業集落におけるし尿や生活雑排水等の汚水処理施設の改築・維持管理を実施する市町村への補助：1市 | ① 2,310 ③ | 生活排水処理率 目標値 83.0 84.8 86.5 実績値 80.5 — — 達成率 97.0% — — | B | | | | |
| | | | ② | | | | | | |
| | 予算額 (うち翌年度繰越額) 2,310 (0) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 2,310 (2,310) | 主な活動指標と達成率 漁集補助金の交付市町村数 [市町村] 目標値 1 実績値 1 達成率 100.0% | 事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 令和3年度の生活排水処理率は80.5%で目標を概ね達成することができた。 供用開始から20年以上経過した施設が8施設にのぼり、経年劣化に対応した機能保全を本格的に実施する必要があることから、機能保全計画に基づき計画的かつ効率的な改築を実施していく。 ※令和4年度実績値は令和5年9月以降に公表予定のため、前年度実績で評価 | | | | | | |